

議案の審議

今定例会では、「奥州市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定」と「奥州市税条例等の一部改正」を含む6件の条例制定や一部改正のほか、任期満了に伴う農業委員会委員の任命に関する同意や平成30年度一般会計補正予算や各特別会計の補正予算等を審議し、いずれも原案通り可決しました。

奥州市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定

地域の特性を生かした高い付加価値を創出し、地域経済を牽引する事業の用に供する施設を新たに設置した者に対する固定資産税の課税を免除し、もって地域の成長発展の基盤強化を図ることを目的として制定するものです。

(施行期日) 公布の日

奥州・北上・金ケ崎・西和賀定住自立圏の活性化を図るための関係条例の整備に関する条例の制定

奥州・北上・金ケ崎・西和賀定住自立圏形成に関する協定及び共生ビジョンに基づき、奥州市牛の博物館、胆沢

郷土資料館及び衣川歴史ふれあい館の広域的な利用を進めるため、当該圏域内の小学生及び中学生の入館を無料とし、圏域全体の活性化を図ることを目的に、関係条例について所要の改正をしようとするものです。

(施行期日) 平成30年7月1日

奥州スマートインターチェンジ整備事業に伴う工事等に係る変更契約の締結

奥州スマートインターチェンジ整備事業に伴う工事等の契約について、今年冬の大雪及び厳寒により工事施工にかかる除雪費及び高規格舗装工事費用等、冬期間工事施工費用が増加したことから、より契約金額を変更し、再契約するものです。

変更契約の内容 契約金額4億19

15万2182円(変更前3億8951万9777円)

平成30年度一般会計予算を補正

6月補正予算は、「地域コミュニティの充実に向けた協働のまちづくり」「元氣創出のまちづくり」「子供にやさしいまちづくり」「総合計画の推進」の4つの重点指針を実現するため、政策的事業を重点に予算が配分されました。協働のまちづくり交付金2063万円のほか、まち・ひと・しごと創生総合戦略として、観光客誘致促進事業等の雇用・産業創出に1530万円、妊娠・出産包括支援事業等の子育て環境対策に3075万円、移住・定住促進事業等の奥州ファン開拓に400万円、さらめきマラソン事業等の地域愛醸成に483万円としました。



4月から30地区センターすべてが指定管理へ

〔議員表彰〕

全国市議会議長会第94回定期総会において表彰がありました。6月1日本会議場において表彰状の伝達を行いましたので紹介します。

■副議長 4年以上

小野寺 重 議員

■議員 15年以上

渡 辺 忠 議員
今 野 裕 文 議員



(左から 今野裕文議員 渡辺忠議員 小野寺重議員)